



静岡市長

田辺信宏様

平成28年度
静岡市行政施策に対する要望書

平成27年8月

静岡商工会議所

静岡市長
田 辺 信 宏 様

平成 28 年度 静岡市行政施策に対する要望について

私ども静岡商工会議所は、「地域企業から選ばれる、存在感ある組織」を目指し、「企業づくり」「地域づくり」「基盤づくり」の3テーマを柱とした第2次中期行動計画『PRESENCE '16』（平成26～28年度）記載の各種事業に取り組んでおります。

特に「企業づくり」では、今年7月15日に小規模支援法に基づく当商工会議所の「経営発達支援計画」が第1回認定を受けるなど、地域の中小企業がそれぞれのライフステージ（創業・成長・成熟・承継）で抱える様々な課題に対し、ワンストップで相談できる体制の強化を図っております。

また「地域づくり」では、今年本番を迎えた徳川家康公顕彰四百年記念事業をはじめ、静岡市プレミアム付商品券事業やインバウンド誘致推進事業、「全国商工会議所観光振興大会2015inしずおか」の開催など、貴市と連携しながら、様々な事業を推進しているところでございます。

現在、当地域の景況は全体として緩やかに回復しつつありますが、中小企業においては、円安に伴う原材料や燃料などのコスト増加分の価格転嫁が遅れており、併せて人手不足、人件費の増大等が経営の足かせとなる状況が続いております。

また、訪日外国人の急増等を背景に当地域への観光客は増加しているものの、定住人口の減少が進み、その対策が喫緊の課題となっております。

こうした中、当地域経済の活性化に向けまして、意欲ある中小企業の経営支援を強化し、また都市の魅力向上や賑わいあるまちづくりを推進するため、当商工会議所の第2次中期行動計画のテーマに基づき、別紙のとおり行政施策要望を提出いたします。

当商工会議所におきましても、貴市と一体となり、地域の発展に向け一層尽力して参りますので、本要望につきましましては平成28年度に優先的かつ重点的に推進いただきますよう、是非とも特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

平成27年8月19日

静岡商工会議所

会 頭 後藤 康雄

副会頭 櫻井 透 酒井 公夫 岩崎 清悟 山田 訓史 村上 光廣

部会長 増田 玲司（建設部会） 小長谷修誠（港湾・交通運輸部会）

神野 一成（卸商業部会） 曾根 正弘（情報文化部会）

永田 正明（小売商業部会） 田形 和幸（金融部会）

榊原 公一（製造業部会） 鈴木 剛（専門サービス部会）

久保田 隆（観光・飲食部会） 田中 康隆（生活関連サービス部会）

平成28年度 静岡市行政施策に対する要望

★は重点項目

企業づくりに関する項目

【地域産業の活性化と地域中小企業の支援】

- ★1. 中小企業及び創業者の支援体制の強化
- ★2. 企業誘致対策・留置対策の促進
- ★3. 静岡市への移住・定住の促進 ※新規
- ★4. 女性が働きやすい環境の整備促進
 - 5. 小規模事業者経営改善資金（マル経資金）融資制度の利子補給の実施
 - 6. 駿河湾地域循環型社会推進プロジェクトの促進
 - 7. 事業所税の全額減免
 - 8. 理工系大学・学部の新設・誘致の推進
 - 9. 大谷・小鹿地区の整備促進
 - 10. 新東名高速道路周辺地域の利活用の推進
 - 11. 地域エネルギー政策の確立と地元企業の省エネ対策への支援拡充

地域づくりに関する項目

【地域インフラ整備とまちづくり支援】

- ★12. 海洋文化拠点構想の推進及び地震・津波対策の促進
- 13. 折戸湾の再生及び周辺地域の利活用の推進 ※新規
- 14. 中心市街地の回遊性向上と来街者の利便性向上、安全確保に向けた整備の促進
- 15. 中部横断自動車道の早期実現及び開通後の利活用の推進
- 16. 基幹道路等の整備と交通渋滞・混雑の緩和促進
- 17. JR東静岡駅周辺整備の促進
- 18. JR静岡駅、清水駅周辺整備の促進

【観光・文化の振興と社会教育の充実】

- ★19. ポスト家康公四百年祭事業の推進 ※新規
- ★20. 駿府城公園エリアの歴史文化のまちづくり推進
- ★21. 観光誘客の促進
 - 22. 三保松原周辺地域の整備促進
 - 23. 有度山周辺エリア及び日本平山頂部の早期整備促進

【地域産業の活性化と地域中小企業の支援】

★1. 中小企業及び創業者の支援体制の強化

(要望理由) 地域経済を支える中小企業及び創業者の支援を強化するため、整合性のとれた中小企業施策を進めるよう、下記の事項を要望する。

記

- (1) 静岡市清水産業・情報プラザ、静岡市産学交流センター、SOHOしずおか、静岡市クリエイター支援センターが連携を強化し、中小企業や創業者の支援体制を強化すること
- (2) 前項の体制づくりの一環として、利用者の利便性向上や事業運営・財政の効率化を図るため、静岡市清水産業・情報プラザと静岡市産学交流センターの指定管理を平成30年度から一元化するよう検討を進めること

★2. 企業誘致対策・留置対策の促進

(要望理由) 雇用創出や地域産業の活性化のため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 「工場等の建設に対する助成制度」の補助対象業種の拡大や、補助要件の新規雇用者数の要件緩和、活用実績のない固定資産税等の助成制度の実用化に向けた見直し等の制度改正や規制緩和を行い、静岡市への企業立地・企業誘致を促進すること
- (2) 市内企業（特に製造業）の市外流出を防止する対策を講じること

★3. 静岡市への移住・定住の促進 ※新規

(要望理由) 喫緊の課題である人口減少対策の一環として、下記の事項を要望する。

記

- (1) 静岡市の地域特性を踏まえ、市外からの移住者の負担やリスクを軽減する総合的な支援制度の創設を検討すること
- (2) 市外からの移住者を雇い入れた事業所への助成金など、事業所向け支援制度の創設を検討するとともに、静岡市及び関連団体等においても移住者を積極的に採用すること
- (3) 移住者向けの住居や雇用等の情報整備を行うとともに、静岡市移住支援センターを有効に活用し、静岡市への移住を促進すること
- (4) 地域企業の魅力発信やインターンシップ導入支援により、地元就職やU・I・Jターン就職を促進すること
- (5) 首都圏の未婚者と地元未婚者を引き合わせる婚活支援事業の実施により、移住・定住人口の増加を促進すること

★4. 女性が働きやすい環境の整備促進

(要望理由) 女性の活躍による地域活性化や女性人口の減少に対応するため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 女性が働きやすい環境を整備促進するため、「静岡市女性の活躍応援事業所表彰」受賞事業所など、ワークライフバランスの取組みに積極的な事業所を支援する制度の創設を検討すること
- (2) 女性起業家や経営者を応援する低利の融資制度の創設を検討すること。なお、同制度は産前産後期間には優遇した利子補給を行うなど、働く女性に配慮した制度とすること
- (3) 子育て支援の一環として、様々な就業形態に応じた保育や小児科医療の充実を図ること

5. 小規模事業者経営改善資金（マル経資金）融資制度の利子補給の実施

(要望理由) 地方の小規模企業は依然として景気回復に至っていない。小規模企業振興基本法が成立するなど、小規模事業者の支援が強化される中、マル経資金融資制度の利子補給は非常に効果的な支援となっているため、下記の事項を要望する。

記

景況や国の施策方針を鑑み、マル経資金の償還利子のうち、年利1%相当分を市が補給する利子補給制度を継続すること

6. 駿河湾地域循環型社会推進プロジェクトの促進

(要望理由) 駿河湾地域事業化プロジェクトが事業化に向け、テーマごと成果も着々と出始めていることから、更にプロジェクトを促進するため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 地域企業による産学連携、新事業創出のため「新産業開発振興機構」への助成を拡充すること
- (2) 駿河湾地域事業化プロジェクトの研究成果を活かし、今後の産学連携事業化研究、大学シーズの発掘について助成・支援を行うこと
- (3) 三保地区や大谷・小鹿地区の6次産業創出等を推進するため、陸上養殖事業の実用化に向け、課題となる県条例による地下海水の取水制限の規制緩和または特例措置などによって、早期地下海水の利用推進に向けた静岡県への働きかけを東海大学・当商工会議所と連携して積極的に進めること

7. 事業所税の全額減免

(要望理由) 事業所税は固定資産税との二重負担構造で、中小企業に過度な負担を負わせており、また大手企業の市外流出や企業立地・企業誘致の阻害要因になっている。地域中小企業の負担軽減及び企業立地の促進のため、下記の事項を要望する。

記

日本商工会議所が企業の前向きな投資を阻害するものとして国に対して廃止を要望している事業所税を全額減免すること、特に負担感が大きい中小企業に賦課する事業所税は直ちに全額減免すること

8. 理工系大学・学部の新設・誘致の推進

(要望理由) ものづくり産業における次世代を担う有能な人材の確保と産業技術力の向上のため、下記の事項を要望する。

記

静岡市への理工系大学・学部の新設・誘致を早急に推進すること

9. 大谷・小鹿地区の整備促進

(要望理由) 新たな産業拠点の整備により交流人口増加や雇用拡大等に資する地域活性化や新たな都市モデルの構築を推進するため、下記の事項を要望する。

記

平成 29 年度の東名新スマート I C 供用に向け、大谷・小鹿地区における農産物を活用した循環型 6 次産業拠点の整備や、その他の工業・物流拠点の整備、市内回遊を促す交流拠点の整備、居住エリアには防災スマート街区の整備を早期に促進すること

10. 新東名高速道路周辺地域の利活用の推進

(要望理由) 新東名高速道路周辺地域の利活用により静岡市の産業振興を図るため、下記の事項を要望する。

記

企業立地用地や物流拠点、観光農業拠点など、新東名高速道路周辺地域の利活用を推進すること

11. 地域エネルギー政策の確立と地元企業の省エネ対策への支援拡充

(要望理由) エネルギーの安定供給や再生可能エネルギーの技術開発の強化、企業の省エネ対策を推進するため、下記の事項を要望する。

記

- (1) エネルギーの安定供給・地産地消に向け、エネルギー産業集積拠点の整備や再生可能エネルギーの普及、スマートシティの形成に向けた取組みなど、当市の特性を生かした地域エネルギー政策を早期に確立すること
- (2) エコアクション 21 取得推進のため、地元企業への支援を拡充すること

【地域インフラ整備とまちづくり支援】

★12. 海洋文化拠点構想の推進及び地震・津波対策の促進

(要望理由) 清水地区の観光と交流による賑わい拠点づくりを推進するとともに、同地区の災害対策を促進するため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 清水ウォーターフロントの賑わい創出や核となる施設の整備、回遊性の向上のため、当会議所が今年度設置した「海洋文化拠点づくり推進特別委員会」と連携して、海洋文化拠点構想を推進すること
- (2) 清水港の地震・津波対策を早期に促進すること。また防潮堤・避難施設設置計画においては、美観や賑わい創出、港湾利用に配慮した計画とするよう関係機関等との調整・連携を図ること

13. 折戸湾の再生及び周辺地域の利活用の推進 **※新規**

(要望理由) 折戸湾の美しい水辺環境と、富士山の眺望を活かしたレクリエーション・賑わい空間の創出により、地域のみならず訪れる人たちの期待に応えられる地域づくりを進めるため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 静岡市及び地域経済界と連携して、折戸湾の利活用計画策定に早期に着手するよう、静岡県に働きかけること。なお、計画は地域の歴史・文化を前提とし、後世に誇れる地域づくりを念頭に置いたものとする
- (2) 前項の計画策定とともに、景観を含む地域の良好な環境づくりのため、「木材係留用コンクリート貯木杭」の撤去、湾底堆積物の処理を速やかに実施するよう、静岡県に働きかけること

14. 中心市街地の回遊性向上と来街者の利便性向上、安全確保に向けた整備の促進

(要望理由) 歩行者や自転車、公共交通を優先したまちづくりを推進し、まちなかの活性化や回遊性の向上に繋げるため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 江川町交差点は、静岡日生ビルと電ビル間の横断歩道を増設し、歩行者の更なる移動性・回遊性の向上に向けた取り組みを推進すること。また、中町交差点についても、平面横断化の実現に向けた取り組みを推進すること
- (2) 安全快適な自転車利用を推進するため、中心市街地の自転車走行空間の整備を促進すること
- (3) 中心市街地の都市景観や安全性に配慮した新たな駐輪スペースの整備、利用率が高まるような既存駐輪場の改善、自転車のルールとマナーの周知徹底を行うこと

15. 中部横断自動車道の早期実現及び開通後の利活用の推進

(要望理由) 域内経済の活性化と沿道各県の経済・産業交流の推進を図るため、早期全線開通に向け、下記の事項を要望する。

記

- (1) 山梨県・長野県・新潟県の自治体と一体となり、中部横断自動車道全線（静岡市～長野県小諸市）の建設を促進すること。特に、新清水 JCT～六郷 IC 間は平成 29 年度までに一体的に開通するよう整備を促進すること
- (2) 中部横断自動車道開通後の利活用に向け、沿線住民に対して当市の観光振興や経済交流につながる働きかけを推進すること

16. 基幹道路等の整備と交通渋滞・混雑の緩和促進

(要望理由) 交通渋滞の緩和、安全交通の確保及び交通基盤の整備のため、道路整備事業について、下記の事項を要望する。

記

<静岡バイパス>

- (1) 中部横断自動車道や大谷小鹿地区の東名新 I C の平成 29 年度供用を踏まえ、丸子藁科トンネルの 4 車線化を促進すること
- (2) 清水区横砂から八坂までの平面構造区間について、早期の立体化を促進すること

<静岡大谷地区>

- (1) 静岡市大谷・小鹿地区への新インターチェンジ及びアクセス道路を早期整備すること
- (2) 下大谷線の大谷土地区画整理区域境～静岡南高入口交差点（フードマーケットナム南側）区間の整備を早期に完了すること
- (3) 下大谷線の静岡南高入口交差点～中野小鹿線（通称：S B S 通り）区間について、早期に整備事業に着手すること

<清水日の出町押切線道路>

北脇工区、能島工区を早期に整備すること

<清水駒越富士見線道路>

駒越西地区における県道駒越富士見線を延伸し、国道 150 号清水バイパスと接続するための道路を早急に整備すること

<国道 150 号>

清水港への港湾アクセス道路である静岡バイパスと久能拡幅を早期に整備すること

<奥大井地区>

リニア中央新幹線建設工事が実施される場合には、自然環境への配慮は当然であるが、工事に伴い整備される工事用道路等の産業・観光への活用など、単に通過するだけでなく、当市に経済効果があるよう JR 東海に働きかけること

17. JR東静岡駅周辺整備の促進

(要望理由) 静岡市の都市機能の高度化を図るため、下記の事項を要望する。

記

JR東静岡駅周辺地区の将来を見据えた整備に向け、当面の賑わい創出や経済活性化につながる利活用を官民連携により促進すること

18. JR静岡駅、清水駅周辺整備の促進

(要望理由) 地域住民や駅利用者の利便性向上に資するため、駅周辺のインフラ整備について、下記の事項を要望する。

記

- (1) JR静岡駅南口駅前広場の拡張再整備を推進すること
- (2) JR清水駅みなと口(東口)地区と江尻口(西口)地区を結ぶ第2自由通路について、地元関係者との調整を行い、早期に着工すること

【観光・文化の振興と社会教育の充実】

★19. ポスト家康公四百年祭事業の推進 **※新規**

(要望理由) 家康公四百年祭を一過性に終わらせないよう、「家康公」ブランドの発信を継続し、地域の魅力向上、市民の誇り醸成、地域活性化を推進するため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 当会議所が中心となって実施している「徳川みらい学会」や「徳川家臣団大会」のほか、朝鮮通信使関連事業などの「家康公が愛したまち静岡」を推進する事業を当会議所と連携して継続すること
- (2) 前項を所管する専門の部署を設置すること
- (3) 静岡マラソン開催経費の補助を継続すること

★20. 駿府城公園エリアの歴史文化のまちづくり推進

(要望理由) 静岡市の観光や文化振興、歴史教育の新たな拠点を整備するため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 歴史文化施設については、名称を「徳川記念館」とし、徳川時代の知恵や歴史的意義の発信を目的とする「徳川みらい学会」の運営形態を検討すること
- (2) 駿府城天守閣の再建に向けた天守台・本丸跡の調査を開始すること。また、市民の協力が得られるような仕組みを構築し、単年度の財政負担が少なく、整備過程を観光資源として活かしながら公開して長期的に建設を行う方式(例、サグラダ・ファミリア)を参考として整備手法を検討し、駿府城公園の天守台・天守閣の整備を促進すること
- (3) 歴史文化施設や駿府城公園を含む周辺エリア全体の歴史文化のまちづくりを推進すること

★21. 観光誘客の促進

(要望理由) 国内外からの観光誘客を強化するとともに、観光客の満足度向上を図るため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 久能山東照宮や浅間神社、駿府城公園などの歴史資産や、聖一国師の功績等も活用し、当市が「家康公とお茶のまち」であることをアピールする具体的な取組みを推進すること
- (2) 東海道の宿場跡が静岡市内には6宿、静岡県内には22宿あるため、それらと連携した街道観光を一層推進すること
- (3) インバウンド誘致推進のため、地域資源を活かした観光ルート・モデルコースの設定、多言語対応の強化・改善(マップ・ガイドブック・案内標識・観光案内所等)、公衆無線LAN環境の整備、受入体制の充実など、官民連携により積極的に取り組むこと

- (4) 「あなたの残したい建物コンテスト1位」となった次郎長生家の保存を図るため、建物を静岡市が所有し、清水地区の観光資源として活用すること
- (5) 観光客の利便性向上のため、レンタサイクルの貸出施設の増設、乗り捨てできるような一元管理など、レンタサイクルの利用向上を図ること
- (6) 「ふるさと納税制度」を活用し、静岡市の豊富な地域資源を寄附者への返礼品とすることで積極的にPRを行い、当市の魅力発信を強化すること

22. 三保松原周辺地域の整備促進

(要望理由) 三保松原の保全や来訪者の満足度向上、良好な景観形成など、三保松原周辺地域の総合的な整備を促進するため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 松原の保全対策を継続して実施すること
- (2) 三保松原の価値や観光情報を発信する「三保松原ビジターセンター」に加え、東海大学が研究を進めている陸上養殖技術を活用した施設や親水ゾーンなど、観光地としての魅力向上を図る整備を促進すること
- (3) 清水港三保線の無電柱化を早期に実現すること

23. 有度山周辺エリア及び日本平山頂部の早期整備促進

(要望理由) 有度山周辺エリアへの観光客誘致と賑わいのある日本平山頂形成のため、下記の事項を要望する。

記

- (1) 戦略的観光振興は静岡市の重点施策でもあることから、国内外の観光客の増加に向けて、有度山周辺エリアの整備を促進すること
- (2) 日本平山頂部に、富士山やホビー・お茶等の静岡市の地域資源をPRするような施設を設置するなど、より観光を意識した整備を県と連携して早期に行うこと

関係会議等の開催状況

日程	内容
平成 27 年	
5 月 12 日(火)～26 日(火)	各部会開催
6 月上旬～中旬	事務局案取り纏め
6 月 23 日(火)	地域活性化委員会（都市基盤整備、観光振興など）
6 月 25 日(木)	正副会頭会議
6 月 30 日(火)	食文化みらい創造推進特別委員会（6次産業化など）
7 月 1 日(水)	中小企業対策委員会（中小企業支援、税制改正など）
7 月上旬	静岡市企画課、産業政策課との事前調整
7 月 9 日(木)	正副会頭会議
7 月 17 日(金)	総合政策委員会（要望案の審議）
7 月 21 日(火)	静岡市関係課長等との意見交換会
7 月 23 日(木)	常議員会
8 月 19 日(水)	第 1 回行政連絡会